

東京大、京都大を押さえトップ通過

第16回国際学生バーチャルリアリティコンテスト予選 本選の出場権を獲得

国際コミュニケーション情報工学科5年の「TOM-KIT's」チームは、東京の日本科学未来館で9月13、14日に行われた「第16回国際学生バーチャルリアリティコンテスト（IVRC）」インスタレーション部門の予選を1位で通過し、11月7、8日に行われる岐阜本選への出場権を獲得した。

「国際学生バーチャルリアリティコンテスト（IVRC）」とは、1993年から開催されている、バーチャルリアリティやロボットといった先端技術を用いたインタラクティブな作品のコンテストである。

IVRCはコンテストという形態を取っているが、地域・企業・学会が一体となって「自ら考え・学び・手を動かすことのできる」優秀な人材を育成するための21世紀型の教育システムを形作る試みでもある。その実績は国際的にも高く評価され、世界最高峰のVR技術の展示会SIGGRAPHやVRアート作品の展示会Ars Electronicaなどで高く評価されている。また、ヨーロッパにおけるVRの総合的なイベント、フランスのLaval Virtualとは、2003年から学生コンテストの優秀作品の招待参加を実施して、フランスと日本の学生交流を行っている。

「La flèche de l'odeur」は、口臭を用いてモンスターを撃退するというコンセプトのゲームである。円筒状の吹き矢型デバイスに息を吹きかけると口臭に応じた矢が発射される。ユーザはテーブルの上に置かれた飲食物（ポテトチップス、チョコパイ、水、ビールなど）を飲食しながらモンスターに合った口臭を出しながらプレイを行う。

英語力を生かしグローバルな発表

日本科学未来館で行われた東京予選では約3,000名の来場者に対して、学生は得意のコミュニケーション能力を生かして発表を行っていた。また、海外からの来場者も多くいたが、臆することなく国際コミュニケーション情報工学科で学んだ英語をたくみに活かしてグローバルな発表を行っていた。高専のブースには常に長蛇の列ができるなど好評であった。東京大学、京都大学、東京工業大学に勝ち、金沢高専が1位になったということが学



吹き矢型デバイスに息を吹きかけ
モンスターを撃退する参加者



予選をトップで通過した
高専小坂研究室チーム

生にとって大きな自信になったようである。現在、11月に行われる岐阜本選にむけてさらにシステムを改良中である。

【東京予選結果】

- 1位 La flèche de l'odeur (金沢高専小坂研究室 チーム名：TOM-KIT's)
- 2位 かおさがし (北陸先端科学技術大学院大学 チーム名：くろびかり)
- 3位 YOTARO (筑波大学 チーム名：おたまじゃくし)
- 4位 人間椅子 (東京大学 チーム名：変隊)

【出場チーム】

国際コミュニケーション情報工学科小坂研究室

指導教員：小坂崇之講師

5年生：岩本拓也、小倉慎司、笹山祐輔、村啓太
任田吉孝、田中聖也